

内令提
要登載

内令第三百三十三號

特設海軍航路部等ノ所管、所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部中第八海軍建設部ノ項ヲ第八海軍病院ノ項ノ次トシ第百八海軍航空廠ノ所屬欄ニ

南東方面艦隊

ヲ加フ

(内令提要卷一、三八ノ三七頁参照)

内令提
要登載

内令第三百三十四號

臨時地方海軍運輸部規程申左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第四艦隊ノ部中

ラバウル地方海軍運輸部

ラバウル

ヲ削リ同部ノ次ニ左ノ如ク加フ

内令

三五二

0403

内令

第八艦隊

ラバウル地方海軍運輸部

ラバウル

(内令提要卷一、三〇ノ一〇五頁参照)

内令第三百三十五號

海軍航空隊ノ所管、名稱及所在地又ハ原駐基地ノ件中左ノ通改正セララル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ部中舞鶴海軍航空隊ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第二八一海軍航空隊

舞鶴航空基地(京都府與謝郡)

(昭和十七年内令第九百七十八號参照)

内令第三百三十六號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

内令提要
要登載

内令提要
要登載

三五二

0404

内令
登載

内令

内令第三百三十八號

昭和十五年内令第八百八號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

三五四

海軍航空隊特別定員表其ノ二十ノ二ヲ別表ノ如ク定ム。
海軍航空隊特別修兵配置表中第二五三ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

第二八一	一/三
	一/三
	三/六
	四/六
	三/五
	四/五
	〇
	二/三
	一
	四/五
	一/二
	一/二
	二/三
	一/四
	一/二
	一/二
	二/三
	四/六
	三/四
	一/二
	五/八
	三/六
	二/五
	四

同表備考第二號中

第二五三	2
ヲ	
第二五三	2
第二八一	3

ニ改ム

(別表一葉添)

参照 昭和十五年内令第八百八號ハ當分ノ間海軍航空隊特別定員表等ヲ定ムルノ件ナリ(内令提要卷一、四五六ノ八ノ九頁)

0406

内令
登載

内令第三百三十九號

昭和十七年内令第二千七號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ七ノニ中飛行隊長中少佐「二」ヲ「三」ニ、分隊長少佐、大尉「六」ヲ「八」ニ、隊附兵科尉官「八」ヲ「十一」ニ、隊附軍醫科尉官「二」ヲ「三」ニ、隊附中少尉（飛）「十二」ヲ「十四」ニ、中少尉（整）「三」ヲ「四」ニ、飛行兵曹長「十三」ヲ「十七」ニ、整備兵曹長「七」ヲ「十一」ニ、飛行兵曹「三十八」ヲ「四十五」ニ、整備兵曹「二十九」ヲ「四十七」ニ、整備兵「百五十五」ヲ「二百二十九」ニ、衛生兵「四」ヲ「五」ニ、主計兵「十六」ヲ「二十」ニ、士官「二十四人」ヲ「三十一人」ニ、特務士官「十八人」ヲ「三十一人」ニ、准士官「三十六人」ヲ「三十四人」ニ、下士官「百二十人」ヲ「百四十五人」ニ、兵「二百五十九人」ヲ「三百三十九人」ニ改ム

同表備考第一號中「三人」ヲ「四人」ニ、「一人ハ整備部指揮官」ヲ「二人ハ整備部指揮官」ニ、同第二號中「六人」ヲ「九人」ニ、同第四號中「二人ハ掌整備長」ヲ「一人ハ掌整備長、一人ハ搭載

内令

三五五

0403

内令
登載

内令

三五六

諸兵器ノ整備ニ從事スルモノニ改ム

特設海軍航空隊特修兵配置表第九三四ノ項中掌飛行兵ノ欄「^六/_六」ヲ「^五/_五」ニ、掌航空兵器兵射爆ノ

欄「^五/_五」ヲ「^九/_九」ニ、掌整備兵ノ欄「^四/_四」ヲ「^六/_六」ニ改ム

参照 昭和十七年内令第二千七號ハ當分ノ間特設海軍航空隊定員表等ヲ定ムルノ件ナリ

内令第三百四十號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

- 一等驅逐艦定員表其ノ一中「沖風、」及「羽風、」ヲ削ル
- 一等驅逐艦定員表其ノ六中「卷雲、」ヲ削ル
- 一等潜水艦定員表其ノ一中「第四、」ヲ削ル

(内令提要卷一、四一八ノ三八頁参照)

0410

令 提

内令第三百四十一号

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「沖風」、「羽風」及「巻雲」ヲ削ル
特修兵配置表其ノ十六中「第四」ヲ削ル

(内令提要卷一、四五二頁参照)

内令

三五七

0411

内令撰
要登載

内令第三百四十五號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十驅逐隊ノ項中「卷雲、」ヲ削ル

第三十四驅逐隊ノ項中「羽風、」ヲ削ル

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第三百四十六號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七潜水隊ノ項中「伊號第四、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令

三六五

0412

内令提
要登載

内令提
要登載

内令

三六六

内令第三百四十七號

驅潛隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十三驅潛隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二十四驅潛隊 第三十七號、第三十八號、第三十九號

(内令提要卷一、七三頁参照)

内令第三百四十八號

横須賀鎮守府在籍

驅逐艦 卷雲

驅逐艦 沖風

舞鶴鎮守府在籍

驅逐艦 羽風

0413

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

横須賀鎮守府在籍

伊號第四潜水艦

右帝國潜水艦籍ヨリ除カル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第三百四十九號

特設砲艦 南陽

右佐世保鎮守府所管ト定メラル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提
要登載

内令第三百五十號

特設驅潜隊編制中左ノ通改定セラル

内令

三六七

0414

令展
登載

内令

三六八

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五十二驅潜隊及第五十六驅潜隊ノ各項ヲ削ル

(内令提要卷一、一四二ノ六頁参照)

内令第三百五十一號

昭和十七年内令第六百五十八號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二別根			第五折南丸		
十四據			第十七昭南丸		
四地					
特隊					

第八十一警備隊ノ項特設驅潜艇ノ欄「第二十日東丸」ノ次ニ「第八玉丸、第三利丸」ヲ加フ

(内令提要卷三、五〇ノ一五頁参照)

0415

内令提
要登載

内令第三百五十二號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府ノ部第二十一特別根據地隊ノ項掃海特務艇ノ欄ニ「第百一號、第百二號、第百三號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁参照)

内令提
要登載

内令第三百五十三號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	船舶名	特設艦船種別	所管
	照川丸	特設運送船(給油船)	吳鎮守府

内令

三六九

0416

内令提
要
彙
載

内令

内令第三百五十四號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦、一等峯風型ノ項中「沖風、羽風」ヲ、同夕雲型ノ項中「卷雲」ヲ削ル
潜水艦、一等伊一型ノ項中「伊號第四」ヲ削ル

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第三百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五艦隊司令部(快風丸乗員ニ充ツベキモノ)

兵 曹、水 兵 四人(掌砲兵一)

三七〇

0417

内令第三百五十六號

昭和十七年内令第八百六十四號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中第十一航空艦隊司令部ノ項「二五」ヲ「五四」ニ改ム

参照 前記内令ノ第二艦隊司令部等ニ氣象講習修了者ヲ臨時増置ノ件ナリ

内令第三百五十七號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦石垣、國後、八丈

兵 曹、水 兵 一人(掌機雷兵 水測)

内 令

三七二

0418

内令第三百五十八號

昭和十八年内令第二百七十二號中「館山海軍砲術學校」ヲ「南東方面艦隊司令部」ニ改ム

昭和十七年内令第二百十號ハ之ヲ廢止ス(終)

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照〔昭和十七年内令第二百十號ハ第八艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件
昭和十八年内令第二百七十二號ハ聯合艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件〕

内令第三百五十九號

昭和十七年内令第四百三十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

中 少 尉 附 一人

0419

兵 曹、水 兵

八人 (掌砲兵 一、掌信號兵 三)

参照 前記内令ハ第五艦隊司令部(後鴻丸ノ乗員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百六十號

昭和十七年内令第八百八十二號中「卷雲」ヲ削ル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ驅逐艦大潮等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百六十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年内令第五百九十四號中「佐世保鎮守府在籍者」及「佐世保鎮守府在籍者 七」ヲ削ル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 令

三七三

0420

増員

第二十一通信隊

中少尉(水) 隊附 一人

兵曹、水兵 十八人(掌電信兵 二四)

機關兵曹、機關兵 六人(掌電機兵 二)

主計兵 一人

減員

第三通信隊

中少尉(水) 隊附 一人

兵曹、水兵 十四人(掌電信兵)

参照 昭和十七年内令第五百九十四號ハ南西方面艦隊司令部等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第三百六十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0421

廢止

廢止

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八聯合特別陸戰隊司令部

主計兵曹

二人

内令第三百六十三號

昭和十八年内令第三〇九號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南西方面艦隊司令部

法務科佐尉官

附

一人 (兼第二南遣艦隊司令部附第二十一特別根據地隊附南西方面艦隊軍法會議法務官)

第二南遣艦隊司令部

法務科佐尉官

附

二人 (一人ハ兼第二十三特別根據地隊附第二南遣艦隊軍法會議法務官)

内令第三百六十四號

昭和十八年内令第三〇九號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

三七五

0422



内令

三七六

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團(清水高等商船學校指導官附ニ充ツベキモノ)

中少尉(水) 附 二人

兵 曹 八人(掌砲兵 四、掌帆兵 二、掌信號兵 二)

機關兵 曹 四人

衛生兵 曹 一人

内令第三百六十五號

昭和十八年内令第~~二~~三九號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府(清水高等商船學校指導官ニ充ツベキモノ)

少佐、大尉 出仕 二人

兵科尉官 出仕 十人

0423



軍醫科佐尉官 出仕 一人

内令第三百六十六號

昭和十八年内令第二百二十四號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「技手 附 臨時六人」ヲ「書記 附 臨時一人」ニ改メ第百二海軍軍需部（マノクワリ支部ノ職員

ニ充ツベキモノ）ノ部中末尾ニ左ノ如ク加フ

書 記 附 臨時一人

参照 前記内令ハ第八海軍軍需部（マダン支部ノ職員ニ充ツベキモノ）等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百六十七號

昭和十九年内令第百五十八號
廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十七年内令第千六百五十五號ハ之ヲ廢止ス

内令

三七七

0424

内令

三七八

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

横須賀鎮守府

少將、技術少將	出仕	一人
兵科、技術科佐尉官	出仕	七人
主計科佐尉官	出仕	一人
技師	出仕	一人
書記	附	三人
技手	附	三人
少將、技術少將	出仕	一人
大佐、技術大佐	出仕	一人
兵科、技術科佐尉官	出仕	五人
技師	出仕	一人
書記	附	二人

(空A廠(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)

(空C廠(假稱)設立準備ニ充ツベキモノ)

0425

内令

三八〇

技 手 三人

参照 昭和十七年内令第六百五十五號ハ横須賀鎮守府(假稱空A廠、假稱空C廠、假稱空F廠設立準備員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百六十八號

昭和十八年内令第六一號
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百八海軍航空廠

衛生兵曹、衛生兵

二人

内令第三百六十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎



0427



<p>第九〇二海軍航空隊</p> <p>兵 曹 二人 (掌暗號兵)</p> <p>整備兵 十人</p> <p>主計兵 二人</p>	<p>内令第三百七十號 昭和十八年內令第二四三號 <small>エテ本號廢止</small></p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十八年三月一日</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p>	<p>第四五二海軍航空隊</p> <p>整備兵曹、整備兵 三十人 (掌整備兵 一〇)</p> <p>内令第三百七十一號 <small>昭和十八年三月一日</small></p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス</p> <p>昭和十八年三月一日</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p>
---	---	---

内令

二八一

0428

内令

三八二

増員

第二十二戦隊司令部

技手 附 一人(氣象)

減員

水路部

技手 附 一人(氣象)

内令第三百七十二號

昭和十六年内令第三百七十六號中少佐、大尉分隊長ノ項舞鶴海軍通信隊ノ欄「一人」ヲ削ル

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ東京海軍通信隊等ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第三百七十三號

昭和十七年内令第三百二十八號ハ之ヲ廢止ス

0429

~~0428~~

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ第八潜水艦基地隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百七十四號

昭和十七年内令第六百六十八號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「臨時四人」ヲ「臨時五人」ニ改ム

参照 前記内令ハバタビヤ在勸海軍武官ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百七十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

三八三

0430

内令

三八四

ニューブリテン民政部

司 政 官 部 員 臨時一人

技 師 部 員 臨時二人

書 記 附 臨時六人

技 手 附 臨時六人

内令第三百七十六號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二海軍航空廠
第十一海軍航空廠
第二十一海軍航空廠

特務士官(飛)、(整) 附 一人

整備兵曹 二人(掌航空兵器兵(雷爆))

0431



第一百海軍航空廠
 第一百二海軍航空廠
 第一百五海軍航空廠
 第一百六海軍航空廠
 第一百八海軍航空廠
 整 備 兵 曹
 一人(掌航空兵器兵(雷爆))

内令第三百七十七號
昭和十八年内令第一七七四號
 ニテ本號廢止
 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日
 海軍大臣 嶋田 繁太郎

聯合艦隊司令部
 第六艦隊司令部
 中少尉(水)、兵曹長 附 一人(氣象)
 第三艦隊司令部

内 令

三八五

0432

内令

三八六

中少尉(水)、兵曹長 附 一人(氣象)(吳鎮守府在籍者)

内令第三百七十八號

昭和十八年内令第三〇八五號
ニテ在職廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設水上機母艦君川丸

中少尉(水)、兵曹長 乗組 一人(氣象)

内令第三百七十九號

昭和十七年内令第二千七號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ二ノ二中飛行兵曹長「十」ヲ「十一」ニ、飛行兵曹「三十七」ヲ「三十四」ニ、整備兵曹「三十」ヲ「三十二」ニ、准士官「三十人」ヲ「三十一人」ニ、下士官「百六人」

内令
第三百七十八號

0433

内令
登載

ヲ「百十五人」ニ改ム

特設海軍航空隊定員表其ノ七中隊附軍醫科尉官「一」ヲ「二」ニ、士官「十一人」

十人「ヲ」十一人「十一人」ニ改ム

特設海軍航空隊特修兵配置表中第五五二ノ項掌飛行兵「^三/_四」ヲ「^六/_六」ニ、掌整備兵「^三/_四」ヲ「^三/_四」ニ改ム

同表備考第一號中

第二五二	3
------	---

ヲ

第二五二	3
第五五二	2

ニ改ム

参照 前記内令ハ當分ノ間特設海軍航空隊定員表等ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四五六ノ一四ノ三八ノ一七頁）

内令第三百八十號

特設運送艦尾上丸職員表別表ノ通定ム

内令

三八七

0434

佐世保鎮守府ノ部中第二十三驅潛隊ノ項ノ次ニ

第二十四驅潛隊

ヲ、日本海丸

ノ項ノ次ニ

筑紫丸砲一

ヲ、白海丸ノ

項ノ次ニ

南陽

ヲ加へでりい

丸、安州丸及第五十二驅潛隊ノ各項ヲ削ル

舞鶴鎮守府ノ部中羽風ノ項ヲ削リ舞鶴海軍航空隊ノ項ノ次ニ、

第二十八海軍航空隊

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令

三八九

0436

内令

○正誤
④

本年内令第二百九十七號中整備兵曹ノ下ニ「(教員)」ヲ脱ス

三九〇

0437

(別表)

特設運送艦尾上丸職員表

(昭和十八年内令第三百八十號)

考	備	計		乗組		主計長		軍醫長		分機隊長		分運隊長		分航隊長		特務艦長		
		特務士官	士官	中少尉(機)	中少尉(水)	主計科尉官	主計尉官	軍醫科尉官	軍醫尉官	少佐	少佐	少佐	少佐	少佐	大佐	中佐	大佐	
		二人	六人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
		兵	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	水兵	主計兵	衛生兵	工兵	機兵	兵	機兵	兵	曹長	
		官	官	官	兵	兵	兵	兵	兵	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹	長
		百四人	三十七人	三人	三	一	三	五十二	四十五	二	一	二	十三	十九	二	一		

0438



内令第三百八十二號

昭和十五年内令第五百七十號及昭和十七年内令第九百五十九號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(参照) 昭和十五年内令第五百七十號ハ海軍航空技術廠ニ人員臨時増置ノ件
昭和十七年内令第九百五十九號ハ第四港務部等ノ人員臨時増減ノ件

内令第三百八十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百八海軍航空廠

書 記 附 臨時一人

内令第三百八十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

光 榮 七三

内 令

三九一

0439

内令

三九二

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二通信隊 (第三分遣隊ニ充ツベキモノ)

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 二十五人 (掌電信兵 一四
常暗號兵 一)

機關兵曹、機關兵 三人

内令第三百八十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第五警備隊

兵 曹 長 一人

内令第三百八十六號

昭和二十年
三月一日
終一六八

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0440



昭和十八年内令第二百三十六號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

紀伊防備隊(特設驅潛艇早鞆丸、富士丸ノ乗員ニ充ツベキモノ)

機關兵曹長 二人

兵曹、水兵 六人

機關兵曹、機關兵 八人(掌内火兵 普二)

參照 昭和十八年内令第二百三十六號ハ特設驅潛艇早鞆丸、富士丸ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百八十七號

昭和十七年内令第二百四十五十四號中左ノ通改正ス

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

藥劑科 佐尉官 部員 一人

内令

三九三

0441

内令

三九四

衛生中少尉、衛生兵曹長 附 一人

衛生兵曹、衛生兵 二十七人

主計兵曹、主計兵 十四人

水兵、機關兵 二人

参照 前記内令ハ第八海軍病院ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第三百八十八號

昭和十七年内令第二千三百七十號中「妙高」ノ下ニ「筑摩、利根」ヲ加フ

昭和十八年内令第七十七號中「五十鈴」ノ下ニ「利根」ヲ加フ

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(参照) 昭和十七年内令第二千三百七十號ハ軍艦羽黑等ニ人員臨時増置ノ件

昭和十八年内令第七十七號ハ軍艦筑摩ニ人員臨時増置ノ件

内令第三百八十九號

昭和十八年五月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増減ス

0442

内令提
要登載

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第二十三航空戦隊司令部

技師 附

一人(氣象)

減員

水路部

技師

一人(氣象)

内令第三百九十號

吳鎮守府所管

特設運送船(給兵船) 尾上丸

右特設運送艦ト改ム

吳鎮守府所管

特設運送船(雜用船) 松木丸

内令

三九五

0443

内令

右特設運送船(給油船)ト改ム

昭和十八年三月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

三九六

0444

内令提
要登載

内令第三百九十一號

昭和十七年内令第千二百二十號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大阪警備府ノ部紀伊防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五十三號」ノ次ニ「第三號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四八頁參照)

内令

三九七

0445

内令撰
要登載

内令第三百九十二號

未成ノ驅逐艦藤波ノ定員表(假定)ハ驅逐艦夕雲ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ驅逐艦霜月ノ定員表(假定)ハ驅逐艦秋月ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ呂號第四十一潜水艦及呂號第四十三潜水艦ノ定員表(假定)ハ呂號第三十五潜水艦(假定)

ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ海防艦六連ノ定員表(假定)ハ海防艦占守ノ定員及特修兵ノ員數ト同一トス

未成ノ第四十五號驅逐潛艇及第四十八號驅逐潛艇ノ定員表(假定)ハ第十三號驅逐潛艇ノ定員及特修兵ノ

員數ト同一トス

未成ノ航空母艦大鳳ノ定員表(假定)別表ノ通定ム

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

内令第三百九十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

内令

三九九

0446

内令

四〇〇

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦、航空母艦ノ部中「龍鳳」ノ下ニ「大鳳」ヲ加フ

驅逐艦、一等夕雲型ノ項中「涼波」ノ下ニ「藤波」ヲ、同秋月型ノ項中「若月」ノ下ニ「霜月」

ヲ加フ

潜水艦、二等呂三十五型ノ項中「呂號第四十」ノ下ニ「呂號第四十一」ヲ、「呂號第四十二」ノ下

ニ「呂號第四十三」ヲ加フ

海防艦、古守型ノ項中「隱岐」ノ下ニ「六連」ヲ加フ

驅潜艇、第十三號型ノ項中「第四十四號」ノ下ニ「第四十五號、第四十八號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第三百九十四號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令
登載

0447

特務艇、掃海特務艇第三號型ノ項中「第十七號」ノ下ニ「第十九號、第二十一號」ヲ、同魚雷艇第一號型ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第十號型 第十號

(内令提要卷三、四二頁參照)

内令第三百九十五號

驅逐艦 霜 月

第四十五號驅潛艇

第四十八號驅潛艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

海防艦 六 連

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

軍艦 大 鳳

内 令

四〇一

0448

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦 藤波

呂號第四十一潜水艦

呂號第四十三潜水艦

内令第三百九十六號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

第十號魚雷艇

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

第十九號掃海特務艇

右本籍ヲ大阪警備府ト假定ス

第二十一號掃海特務艇

0449

内令撰
要登載

内令第三百九十七號

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

伊號第四十四潜水艦

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令撰
要登載

内令第三百九十八號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表其ノ五中「、第四十三」ノ下ニ「、第四十四」ヲ加フ

(内令提要卷一、四二八ノ五四頁参照)

内令

四〇三

0450

内令

内令提
要
登載

内令第三百九十九號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「、第四十三」ノ下ニ「、第四十四」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六頁参照)

内令第四百號

横須賀鎮守府在籍

伊號第四十四潜水艦

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第四百一號

海軍定員令申左ノ通改正セララル

内令提
要
登載

四〇四

0451

内令
掲載

内令
掲載

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ二中「第百四」ノ下ニ「第百五」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七八頁参照)

内令第四百二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年三月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七中「第百四」ノ下ニ「第百五」ヲ加フ

(内令提要卷一、四五六ノ二頁参照)

内令第四百三號

呂號第百五潜水艦

内令

四〇五

0452